

2011年3月期第2四半期 決算説明会

荏 原 (6361)

2010年11月8日



目 次

1. 2011年3月期第2四半期決算 サマリー
2. 2011年3月期第2四半期決算 セグメント別
3. 2011年3月期第2四半期決算 地域別売上高推移
4. 2011年3月期 セグメント別業績見通し
5. 2011年3月期 業績見通し
6. 2011年3月期 設備投資・減価償却費・研究開発費
7. 2011年3月期第2四半期決算 要約連結貸借対照表
8. 2011年3月期 キャッシュフロー計画

※ 本資料において、特に記載のない限り「第2四半期」「2Q」は4月1日～9月30日の6ヶ月間累計期間とします。

2011年3月期第2四半期決算 サマリー

(単位：億円)

	2010年3月期 第2四半期 (実績) (A)	2011年3月期 第2四半期 (実績) (B)	増減 (B-A)
受注高	2,079	1,927	△151
売上高	2,094	1,731	△363
営業利益	23	96	+72
経常利益	10	77	+66
当期純利益	△11	38	+50

実績レート	1ドル=95.8円	1ドル=90.5円	—
想定レート	1ドル=95円	1ドル=90円	—

2011年3月期第2四半期決算 サマリー

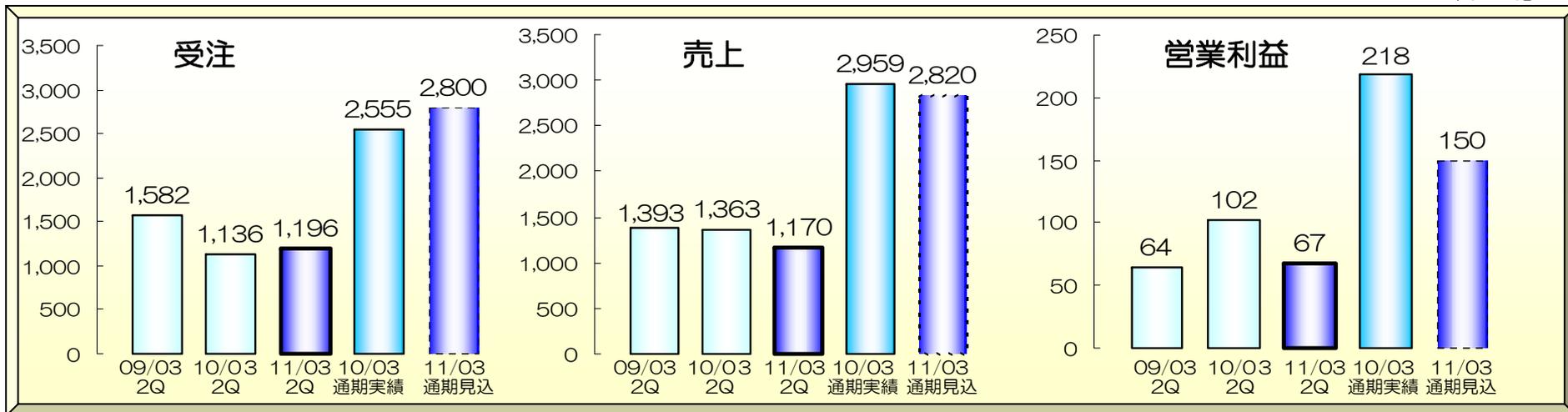
(単位：億円)

		売上高			営業利益		
		2010年 3月期2Q	2011年 3月期2Q	増減	2010年 3月期2Q	2011年 3月期2Q	増減
報告セグメント	風水力事業	1,363	1,170	△192	102	67	△35
	エンジニアリング 事業	482	186	△296	△50	△11	+39
	精密・電子事業	211	317	+105	△29	37	+67
	その他※	36	56	+19	0	0	△0
	調整額	—	—	—	0	1	+1
	合計	2,094	1,731	△363	23	96	+72

※当連結会計年度より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しています。従って、従来「エンジニアリング事業」に含めていた「その他の事業」について、報告セグメントに含まれない事業セグメントとして区分して記載することとしました。

風水力事業

単位：億円



上期業績

【受注】

為替の影響などによる価格競争の激化で厳しい受注環境が続いているものの、東南アジアや南米市場の回復により、前年度実績を上回る受注を確保した。

【売上】

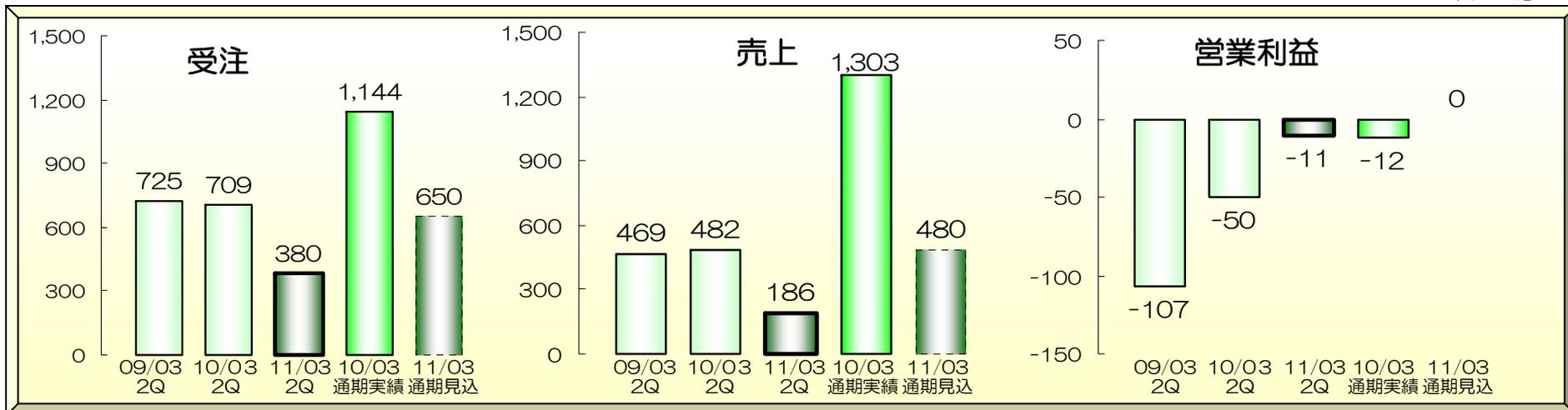
前年度からの受注残が減少したことや、世界的な景気減速の影響による民間部門の設備投資の延期・抑制により、好調であった前年度実績を下回った。

【営業利益】

売上の減少と急激な円高の進行等の要因により、好調であった前年度実績に比べて減少し、一昨年度並となった。

エンジニアリング事業

単位：億円



上期業績

※ 2011年3月期より荏原エンジニアリングサービス㈱が持分法適用の関連会社となり連結の範囲から除外

【受注】

水処理プラント事業の連結除外の影響があるものの、EPCでは厳しい競争環境のなかDBO案件を1件受注したほか、O&Mが堅調に推移した。

【売上】

水処理プラント事業の連結除外の影響により大きく減少したほか、国内EPCの売上減により前年度実績を下回った。

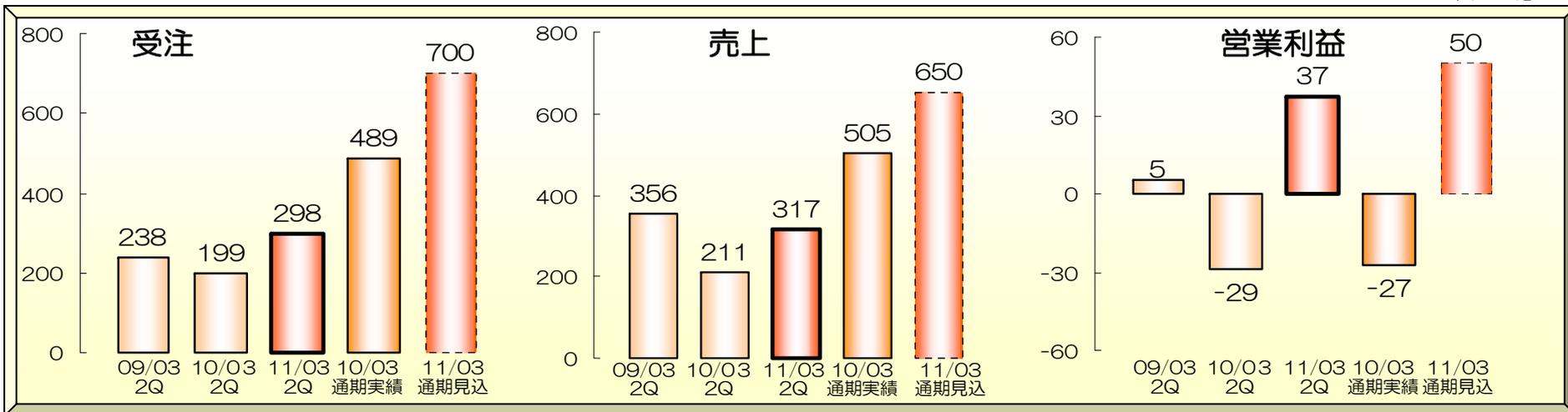
【営業利益】

原価低減を徹底して継続したことに加えて、海外工事において期間内に引き当てた金額が減少した結果、赤字額は前年度実績に比べて減少した。

2011年3月期第2四半期決算 セグメント別

精密・電子事業

単位：億円



上期業績

【受注】

主要顧客の設備投資が今年度においても引き続き行われ、前年同期比では約50%増の受注額となった。

【売上】

前年度下期からの受注が安定していたことから、売上についても前年同期比で約50%増となった。

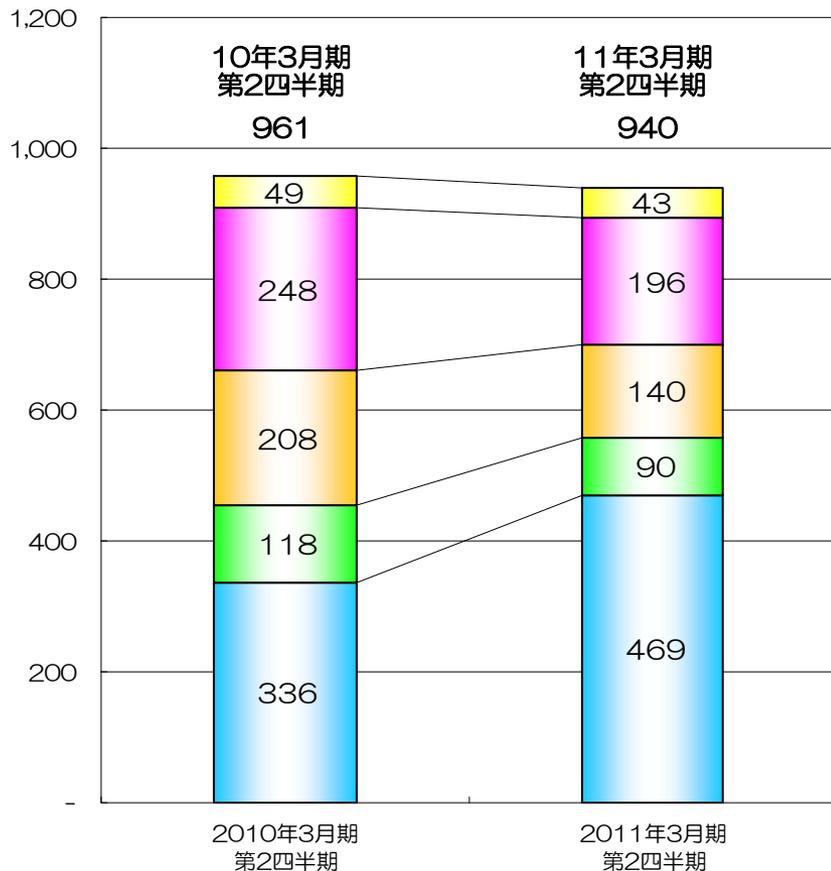
【営業利益】

固定費削減努力に加え徹底した原価低減の効果が現れたことで、営業利益率が大幅に改善した。

2011年3月期第2四半期決算 地域別売上高推移

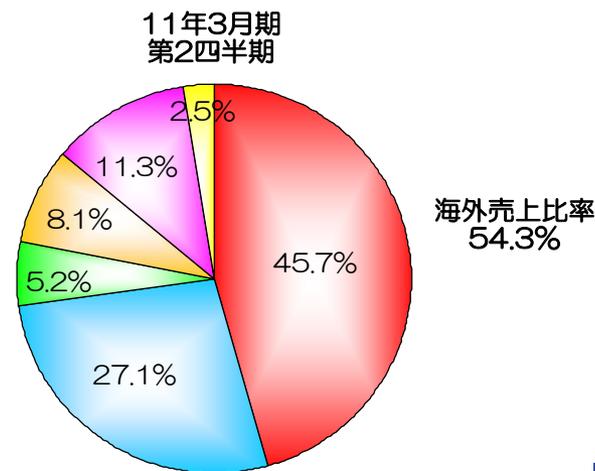
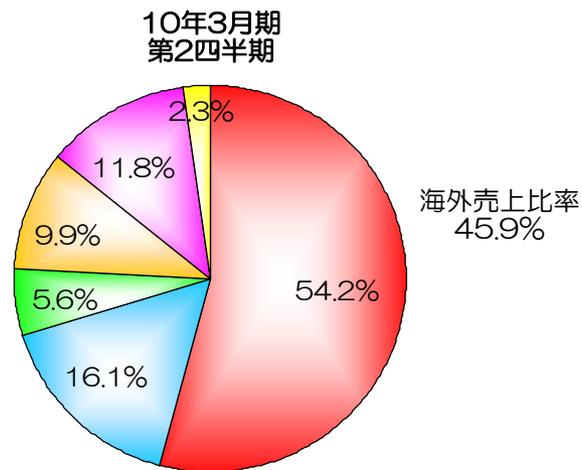
地域別売上高（日本含まず）

単位：億円



地域別売上構成

- その他
- 北米
- 欧州
- 中近東
- アジア
- 日本



2011年3月期セグメント別業績見通し

風水力事業

(単位 億円)	2010年3月期 通期実績	2011年3月期 期初計画	2011年3月期 見込み	増減 (対計画 比)	増減 (対前年 比)
受注	2,555	3,000	2,800	△200	+245
売上	2,959	2,900	2,820	△80	△139
営業利益	218	150	150	0	△68

通期見通し

● 受注計画

前年度実績と比較し、市況の穏やかな回復傾向による設備投資の回復を見込む。また、期初計画比では価格競争の激化や円高の影響による減少を見込む。

● 売上計画

水力機械・気体機械における海外の大型案件の受注残減少などにより、前年度実績より減少を見込む。

● 利益計画

コストダウン努力等の要因により利益率は増加するものの、売上の減少や、採算の低い案件の売上増加、為替レートの悪化などにより、前年度実績より減少を見込む。

2011年3月期セグメント別業績見通し

風水力事業

・・・ 事業別主要施策

事業方針	主要施策
<u>グローバル市場での 事業基盤強化と 収益力向上</u>	水力機械 <ul style="list-style-type: none"> ・富津工場生産革新推進と海外生産拠点の強化 → 生産革新運動(FIT)の展開, 中国事業管理強化 ・原子力、水インフラ、LNG等、高成長市場への注力 → 海外市場での受注拡大の推進 ・設計と営業を統合した新組織によるアフター事業拡大 → 中東等へ地域密着型の営業展開
<u>グループ経営の強化</u>	汎用風水力機械 <ul style="list-style-type: none"> ・世界各地の販売・生産・物流の一体運営の推進 → 欧州・アジア間等 製品連携強化 ・省エネルギー型新ポンプシリーズの市場投入 → 高効率ポンプシリーズ展開開始 ・リニューアブル事業等の成長事業強化 → 都市圏を中心に展開実施中
<u>収益改善の徹底</u>	気体機械 <ul style="list-style-type: none"> ・エリオット・グループ経営統合の推進 → 統合チーム発足による統合の加速化 ・グローバル・サービス事業の拡大 → 中東を中心とした包括的サービス拠点の整備 ・グローバルに通用する人材の育成 → 日米拠点間の人材交流の推進
<u>収益改善の徹底</u>	冷熱機械 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ協業による製品拡充とグローバル販売拡大 → グループ企業との統合的な事業経営 ・新型ターボ冷凍機及びコストダウン型吸収冷凍機の市場投入 → シリーズ展開による市場投入 ・製品・メンテナンスを組み合わせたシステム受注の推進 → 提案営業の積極的推進
<u>収益改善の徹底</u>	風水力プラント <ul style="list-style-type: none"> ・個別案件管理の強化による利益の向上 → 徹底した案件分析による選択応札・受注 ・更新・アフター案件への取り組み強化 → 顧客ニーズと工事原価を考慮した提案・設計

2011年3月期 セグメント別業績見通し

エンジニアリング事業

(単位：億円)	2010年3月期 通期実績	2011年3月期 期初計画	2011年3月期 見込み	増減 (対計画比)	増減 (対前年比)
受注	1,144	650	650	0	△494
売上	1,303	480	480	0	△823
営業利益	△12	20	0	△20	+12

※ 2011年3月期より荏原エンジニアリングサービス(株)が持分法適用の関連会社となり連結の範囲から除外

通期見通し

- 受注計画 新設EPC案件の受注とO&Mの堅調な推移により、前年度実績を上回る見通し。
- 売上計画 前年度までの新規EPC案件受注が低迷した影響により減少を見込む。
- 利益計画 O&M事業を中心に案件毎の採算管理の徹底などを行うことにより、売上の減少や海外焼却炉プラント案件の追加損失をカバーして、ブレイクイーブンを見込む。

2011年3月期 セグメント別業績見通し

エンジニアリング事業 . . . 事業別主要施策

事業方針

主要施策

環境プラント事業

発注者ニーズへの柔軟な対応

EPC部門・O&M部門の一体経営

- ・維持管理における複数年／長期包括契約の推進
- ・EPCの設計ノウハウを活用した既設炉の基幹的設備改良提案強化

競争力・収益力の向上

総合提案力・価格競争力の強化

- ・EPCの設計ノウハウおよびO&Mの維持管理ノウハウを一体化したDBO案件提案
- ・営業、工事、調達部門の一体化による業務効率の改善
- ・標準化・パッケージ化の推進

建替需要の受注確保

O&Mネットワーク情報のEPC部門への展開

- ・O&M部門の全国サービス網による建替案件の早期把握
- ・効率的な更新計画の早期提案

2011年3月期 セグメント別業績見通し

精密・電子事業

(単位：億円)	2010年3月期 通期実績	2011年3月期 期初計画	2011年3月期 見込み	増減 (対計画比)	増減 (対前年比)
受注	489	650	700	+50	+211
売上	505	620	650	+30	+145
営業利益	△27	30	50	+20	+77

通期見通し

- 受注計画 市場の減速感は一部あるものの、主要顧客の設備投資に関しては第4四半期に向けて引き続き継続される見込みである。
- 売上計画 受注の増加にあわせて売上も伸び、期初計画を上回る見込みである。
- 利益計画 下期は生産人員増や研究開発費増による固定費アップは想定されるものの、通期としては全体の売上増により期初計画を上回る見込みである。

2011年3月期 セグメント別業績見通し

精密・電子事業

・・・ 事業別主要施策

事業方針

主要施策

市場要求への対応

半導体市場

ポンプ-補機器：

・EVシリーズ、Gシリーズのラインナップ拡充

CMP装置：

・アドバンスモデル（F-REX300X）の市場評価

めっき装置：

・コンパクトモデルの開発、試作

新規市場（非半導体）

ポンプ-補機器：

・LED、PV向け大容量処理モデルの拡販
・小型ドライポンプのグローバル展開
・一般産業向けドライポンプ市場の開拓

めっき装置：

・LED向けめっき装置開発、試作

ものづくりの進化

生産体制の見直し

ポンプ-補機器：

・海外製部品比率の向上
（コストダウン、円高対策）

CMP装置：

・熊本工場への量産機能集約
（生産革新、量産技術展開のマザー工場へ）

めっき装置：

・海外製部品比率の向上
（コストダウン）

2011年3月期 業績見通し

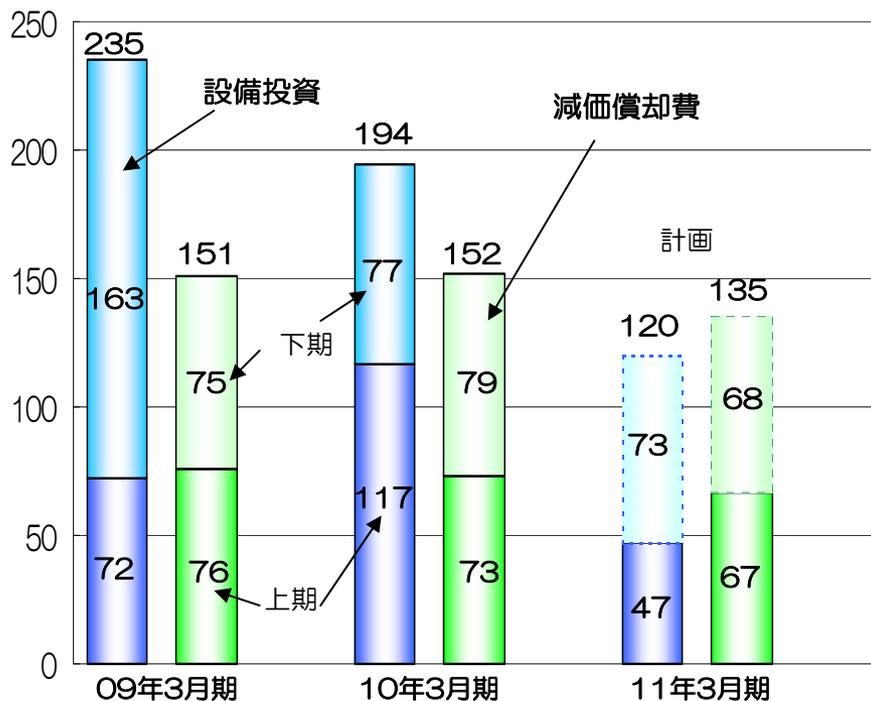
(単位：億円)	2010年3月期 (実績) (A)	2011年3月期 (期初計画) (B)	2011年3月期 (見込み) (C)	増減 (対計画比) (C-B)	増減 (対前年比) (C-A)
受注高	4,266	4,400	4,250	△150	△16
売上高	4,858	4,100	4,050	△50	△808
営業利益	189	200	200	0	+10
経常利益	167	175	175	0	+7
当期純利益	54	90	90	0	+35

実績レート	1ドル=94.7円	—	—	—	—
想定レート	1ドル=90円	1ドル=90円	1ドル=85円	—	—

設備投資・減価償却費・研究開発費

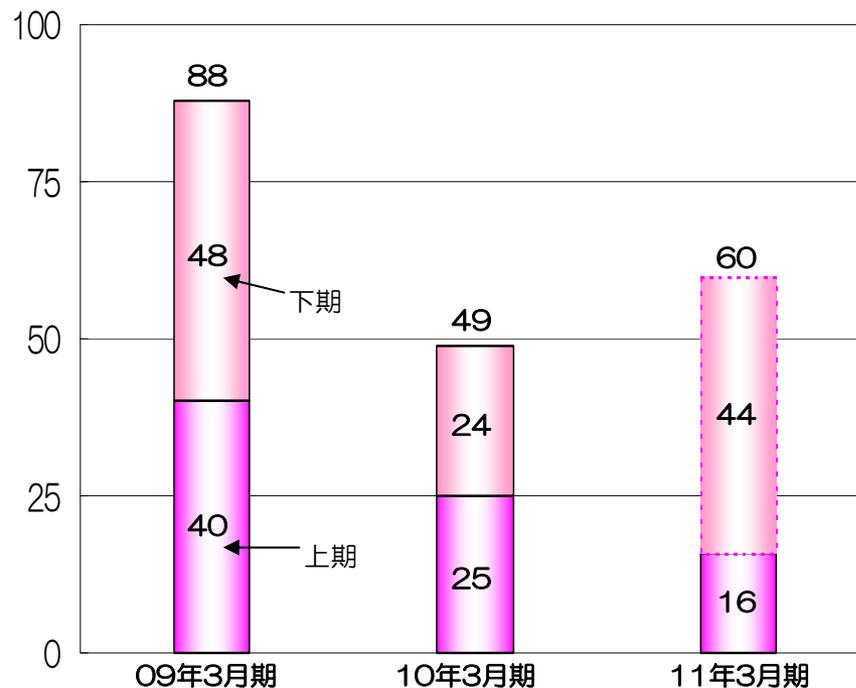
設備投資・減価償却費

単位：億円



研究開発費

単位：億円



2011年3月期第2四半期 要約連結貸借対照表

単位：億円

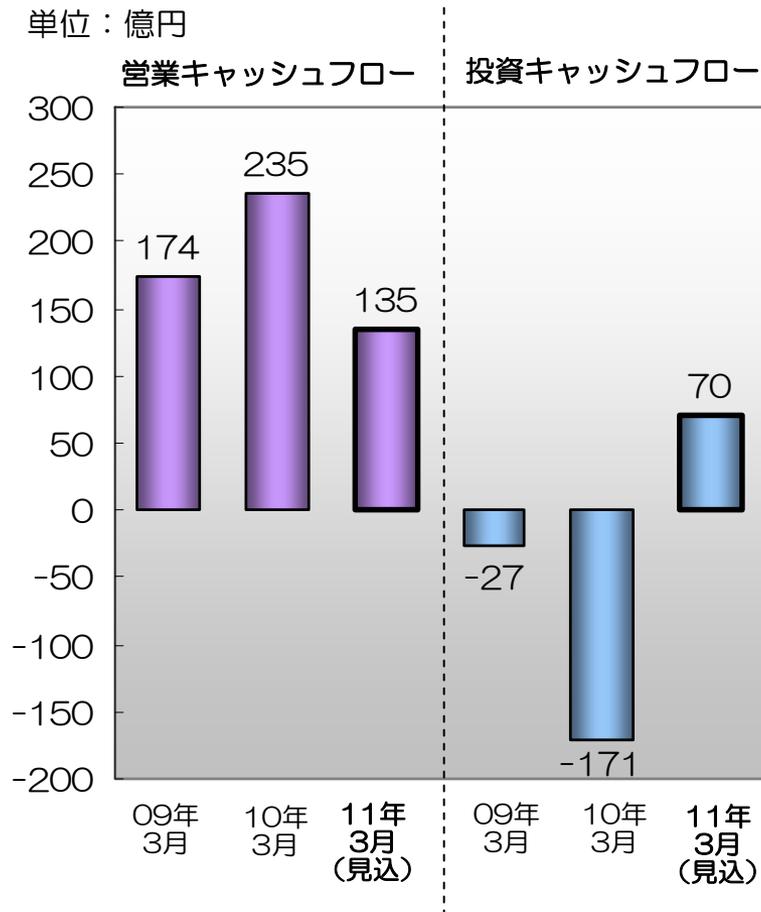
	10年3月期 通期	11年3月期 2Q	増減
現金及び預金	800	1,196	395
売上債権	1,638	1,126	△511
棚卸資産	698	729	31
その他	601	406	△194
流動資産	3,738	3,459	△279
有形固定資産	977	933	△44
無形固定資産	89	80	△8
投資その他	419	386	△32
固定資産	1,486	1,401	△85
資産合計	5,225	4,860	△364

	10年3月期 通期	11年3月期 2Q	増減
買掛債務	997	764	△233
その他	1,628	1,720	91
流動負債	2,626	2,484	△142
固定負債	1,271	1,058	△213
負債合計	3,898	3,542	△355
資本金・剰余金	1,388	1,427	38
評価・換算差額等	△90	△141	△51
新株予約権	1	2	1
少数株主持分	27	30	2
純資産合計	1,326	1,317	△8
負債・純資産合計	5,225	4,860	△364

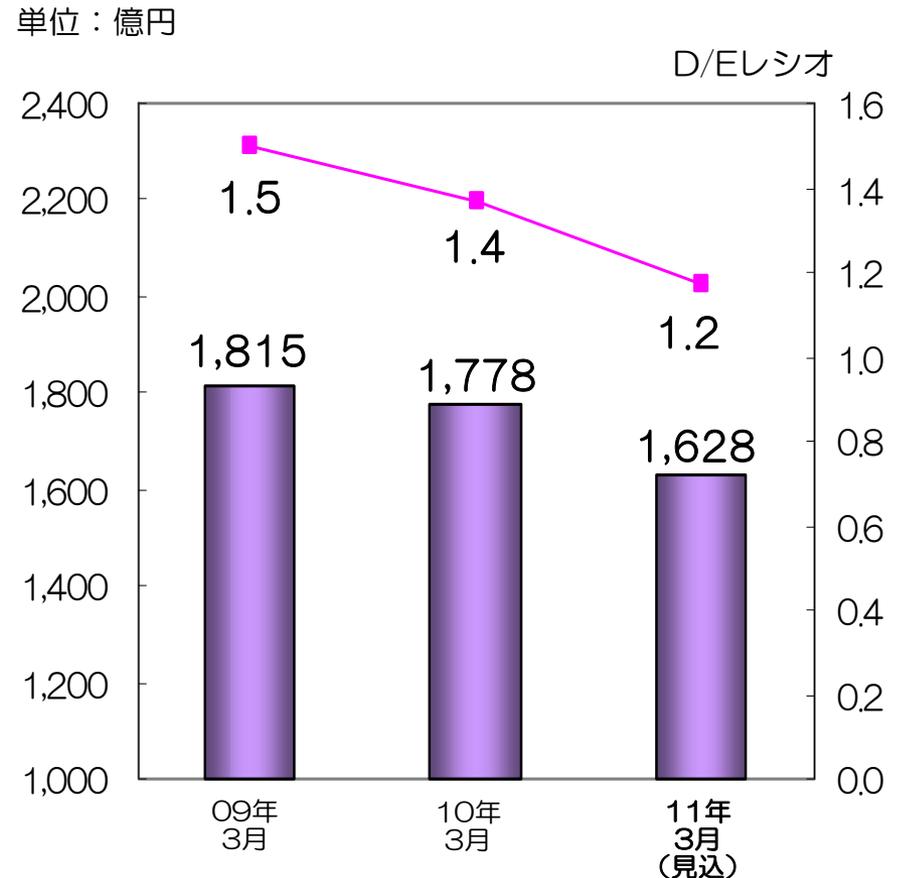
有利子負債 計	1,778	1,740	△38
現金及び現金同等物	817	1,284	467
ネット有利子負債	961	455	△505

2011年3月期 キャッシュフロー計画

キャッシュフロー計画



有利子負債の削減



本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定、を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。